

広報資料

平成19年7月25日

株式会社 東京放送
企業価値評価特別委員会
委員長 北村 正任

本日午後4時より約2時間、委員長のほか、岡部敬一郎委員、西川善文委員、岩倉正和委員、竹原相光委員、宍戸善一委員の計6名全員が出席して、第13回「企業価値評価特別委員会」（以下「委員会」）が開かれました。以下は、その概容です。

- 本日の委員会では、「当社株式にかかる買収提案への対応方針」にもとづく会社からの諮問に関連して、必要情報の収集のために、井上弘社長ら3名の代表取締役から、約2時間のインタビューを行なった。インタビューは、前回の楽天の三木谷社長に対するものと同じ形式によるもので、委員会が、予め質問項目を通知し、会社から書面による一定の回答を得た上で、その回答を前提に関連質問等を行なった。
- 書面による質問項目は、① 企業価値・株主共同の利益向上に関する会社の基本的な見解 ② 楽天のTBS株式大量取得及び業務提携提案に応じた場合の業務上の定性的影響評価 ③ ②の定量的影響評価 ④ 楽天との今後の提携交渉の見通し ⑤ 上場企業の敵対的買収防衛のあり方に関する基本的な見解 ⑥ 放送事業における大株主のとらえ方 ⑦ 楽天の20%超のTBS株式取得によるブランド価値等への影響評価 ⑧ 楽天の20%超のTBS株式取得による会社資産への影響評価 ⑨ 野球協約問題 ⑩ 放送事業における不祥事とコンプライアンス体制等の認識 ⑪ 楽天によるTBS株式大量取得の経過に関する認識 の11項目で、インタビューは、午後6時前に終了した。

以上